

100周年記念ロゴマーク

当社は2015年に創立100周年を迎えます。この100周年を記念し、本社事業所(福岡県北九州市)の再編など、様々な取り組みを進めています。その一環として、100周年記念ロゴマークを制作しました。

このロゴマークは、当社のコア技術であるモーション



コントロール技術、および代表製品の1つであるロボットをモチーフとしています。その技術力が100年の歴史を完成させ、さらには新たな100年を積み上げていくことを表現しています。今後、国内外に向けて広くPRするツールとして、100周年プレ・イヤーである本年より、名刺や広告物などに使用していきますので、ぜひご注目ください。

当社は創立100周年に向け、グループ一丸となって、さらなる技術力・サービスの向上を目指し、これまで以上に社会貢献に努めていきます。

今後とも、皆様のお力添えをよろしく願います。

* 100周年記念ロゴマークは、本誌の表紙にも掲載しています。

■ お問い合わせ先: 人事総務部 TEL 093-645-8801 FAX 093-631-8837

陸上部 NEWS

<http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html>

駅伝シーズンが終了し、マラソン・ロードレースの季節となった年度末。当社選手たちの大半がフルマラソン出場を計画していました。しかし、今年猛威をふるったインフルエンザや風邪などの影響で軌道修正を余儀なくされました。



別府大分毎日マラソン(以下「別大マラソン」と略す)で優勝の期待がかかっていた黒木文太選手が欠場。同じく平山竜成選手も欠場。東京マラソンで好タイムを狙っていた中本健太郎選手も欠場という残念な結果に終わりました。

一方で、ベテラン選手が気を吐いてくれました。

小畑昌之選手が濃霧の立ち込めた別大マラソンで自分のペースを守り抜いて16位と健闘。一方、九州一周駅伝でMVPに輝いたことのある平野護選手が、67位で競技生活に幕を引きました。

翌週の北九州マラソンにおいては、立石慎士選手がスタート直後から完全独走して

優勝しました。立石選手はこのレースで12年間の競技生活に幕を引くこととなりましたが、自身現役最後を飾るに相応しいレースでした。

さらには久保田大貴選手が来シーズンのマラソンを見据えて熊日30キロロードレースに出場。前半からハイペースの展開となり中盤で遅れ始めましたが、来シーズンのマラソンに繋げるべく崩れを最小限に食い止め12位でフィニッシュしました。

2013年度中に4名の選手がチームを去りましたが、今年度は新たに4名の選手を加え、チームの若返りを図ります。

今後とも当社陸上部の応援をよろしく願います。

◆ 2014年2月～2014年3月の主な戦績

日程	大会名	実績
2月 2日	別府大分毎日マラソン	小畑選手16位。平野選手67位で引退。
2月 9日	北九州マラソン	立石選手優勝で引退。
2月 9日	唐津10マイルロードレース	野本選手16位。
2月 16日	熊日30キロロードレース	久保田選手12位。
3月 3日	玉名ハーフマラソン	野本選手21位。

北九州マラソンでスタート直後から先頭を独走した立石選手